



こんてんつ

講談会、落語会ともにぎわい…	1
天下一の江戸城（寄稿） ……	2
全国の支部活動報告 ……	3
全国の支部長を紹介します …	4
三浦先生特別寄稿⑤ ……	5
江戸初期の土木事業を（取材）	6
新規入会者・寄付者紹介…	7
行事予定・お知らせ ……	8

平成 30 年 10 月 1 日 第 49 号

「江戸城寄席」を「東京江戸ウィーク」と同時開催 講談会、落語会とも 100 名を越えるにぎわい

今年は例年になく酷暑の中で、東京江戸ウィークと、江戸城寄席を、7月26日～29日に上野恩賜公園と水月ホテル鷗外荘で開催しました。この期間中に、過去になく進路をとって逆走台風12号がやって来たため、東京江戸ウィークの28日の開催が中止されたほか、東京の風物詩である隅田川花火が29日に変更されました。

今回は講談と落語を分けて開催したため、チケット販売に対して例年以上の関係者のご協力を賜りました。その結果、講談会118名、落語会120名の参加者が、森鷗外の旧居跡に建ったホテルの特設会場をにぎわせました。

東京江戸ウィークの当会ブースには長谷川進会員が制作した熊本城模型を展示しました。熊本城復興募金に協力して31,288円の募金を集めることができました。



東京新聞 7月15日付 したまち版



例年10月に開催してきた江戸城寄席を今年は東京江戸ウィークの連動企画として開催。7月26日に一龍斎貞花先生一座の講談会、28日に金原亭伯楽師匠一座による落語会を開催しました。両日も盛大に楽しく過ごすことができました。

講談会では、貞花先生の開演時の挨拶で盛り上げてもらい、落語会では、古今亭志ん丸さんによる司会進行を得て、寄席が大変明るい雰囲気で行われました。あらためて「続けてきた事が力になっている」「人の縁がいかにか大切か」を感じた江戸城寄席となりました。



100万人賛同署名運動推進中！

49,465筆 (9月23日現在)

東京江戸ウィーク 2018 に協賛してブースを出しました

3年目を迎えた東京江戸ウィークは、江戸時代の文化を若い人たちに伝える事業として今年も開催されました(7月26日～29日、28日は台風12号のため中止となりました)。

当会ブースでは、お城模型作家の長谷川進氏制作の熊本城模型、名古屋支部長成瀬京司氏制作のスマホで見る400年前の江戸城内建物再現画像等を展示して、賛同署名を集めました。

暑い中にも関わらず、毎日10名以上の会員の皆さんの熱心なご協力を頂きました。特に百瀬専務理事のお孫さん(高校生)の友人6名による元気で明るい署名募集活動から、勇気と刺激をもらいました。賛同署名は435筆を数えることができました。

署名にご協力いただいた皆さんに改めて感謝を申し上げます。



※一龍齋貞花先生からの激励のお言葉／張り扇の音入り

「天下一の江戸城」 講談師 一龍齋貞花(会員)

大阪、名古屋をはじめ各地に城がある。首都東京にはない。天下の江戸城があったのに。長禄元年太田道灌が築城、当時のこと、近世城郭ではないものの、五百人の兵が武芸に励んだ広大な城。豊島氏に勝利を収め、川の多い水運を利用し他国と交易。年貢は安く平和な30年間でありました。パンパン

その後北条早雲は、小田原城を本拠とし江戸城はさびれるばかり。

天正十八年八月、徳川家康が入城、雨漏りのする城の修復。秀吉健在中は遠慮していたが、天下を握るや秀忠、家光と三代かけて大坂城を凌駕する日本一の城を完成。パン

家光の建てた天守閣は、15階建てのビルに相当。本丸の土地は標高20メートル。江戸の町から見上げれば80メートルの一大高層建築でありました。パパンパン

明暦の大火で江戸の大半と天守閣を焼失。家光の義弟保科正之が、市民の飢えを防ぐため一日千俵の米を放出。焼失家屋間口1間につき三両一分の復興資金を提案。天守閣再建しなければいけない上、十六万両の金と、多くの米を放出すれば金蔵、米蔵は空っぽになると老中反対するも、今は戦(いくさ)はないと市民のために復興に尽力。このため今に至るまで天守閣は建てられていないが、江戸の町はいち早く復興。いい政治家がいたのです。

講釈師が江戸城東御苑をよくご案内します。松の大廊下跡では、「アイヤ、吉良殿……」と殿中刃傷の一席。一般の観光客も思わず足を止めて聴き入ります。七月の江戸城寄席でも江戸の起りから、江戸城の歴史もまじえ、西郷隆盛と勝海舟の「江戸城無血開城」の一席をお聴きいただきました。パン

災害復興につとめると共に、東京のシンボル江戸城天守閣を再建しようではありませんか。江戸の人々が誇らしく仰いだ天守閣。東京都民ばかりでなく、日本の多くの人が江戸城を仰ぎたいと思っているのではないのでしょうか。パンパン

第162回「一龍齋貞花の会」のお知らせ

とき：11月1日(木)17時5分開演 ところ：お江戸日本橋亭

入場料：2,500円/前売 2,000円 北海道地震、関西豪雨に寄付するチャリティー寄席

名作講談「富永三馬術」長講相勤め候 お問合せ・お申込み：TEL 03-5673-2300

全国の支部活動報告

齊藤・川口支部長と懇談

9月1日、川口の古民家を改造した喫茶室にて、齊藤由美子・川口支部長と役員・事務局計3名との懇談を実施。うかがったことは、若者・女性に対して当会の魅力を高めるためのアイデア等です。

「サポーター」と呼ぶ若者向け労力提供の無料会員を導入すべきという提案書を作ってきてくれましたので、もっばらそれについて議論しました。

名を残したいという若者の意識をくすぐるには不変の会員番号の付与が有効等、若者の気持ちをゆさぶるアイデアを得ることができました。



鈴木・京都支部長と懇談

8月28日、鈴木智博・京都支部長に西神田事務所を起こしいただいて、太田会長をはじめ役員・事務局計5名との懇談を行いました。

鈴木氏が中心となって進めている戦国魂(せんごくだま)と呼ぶ活動は、戦国時代を中心とする地域の歴史を掘り起こすことによる地域起こしがねらいです。若者がこだわるビジュアルを大事にすることに



よって、多くの若者を実際に戦国ファンに引き込んできました。戦国と城郭とで一緒にできそうなことを提案し合うことになりました。

練馬支部大会を開催



7月21日、練馬支部大会が40名近くの参加を集めて、西部池袋線練馬駅前のココネリの研修ルームにて開催されました。元フジTVアナウンサーの小林大輔氏がプログラムを進行させて、松本誠・練馬支部長、百瀬専務理事がこれまでの運動の歩みをふりかえったあと、太田会長が「江戸城天守再建」と題して講演しました。

千葉第一支部・いすみの市「みなとの朝市」にて賛同署名募集



7月1日(日)朝8時30分から、江澤廣・千葉第一支部長の地元いすみ市大原漁港朝市において、賛同署名募集、賛同チラシ配布を実施しました。地元の皆さん並びに、島田理事長以下役員の参加により、成功裡に終了しました。特に、いすみ市の太田洋市長をはじめ職員の皆様のお力添えをいただいたことに感謝申し上げます。

※Youtubeで動画をご覧になれます。→「youtube 江戸城 朝市」で検索

支部長連絡会 第2回を開催



7月5日、神保町区民会館にて第2回の支部長連絡会が開催され、全32支部中13の支部から支部長が参加しました(総勢は22名)。2018年上期の獲得署名実績では、全4812筆のうち支部の寄与合計が2割を超えたことが報告されました。続いて各支部から、千葉第一支部による漁港の朝市での署名集め等、報告がありました。また、齊藤・川口支部長からInstagramによる情報発信の提案がありました。(第3回を10月27日に予定)

全国の支部長を紹介します

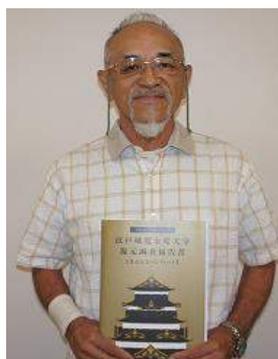
※かわら版に毎号、支部長の顔写真を掲載します。



飯能支部長 市川直是氏



八潮支部長 川上 泉氏



杉並支部長 井上啓造氏



草の根支部長 沼倉佑栄氏



江東第一支部長 田中季彦氏



江東第二支部長 荒岡耕二郎氏



横浜港北支部長 阿久津則子氏

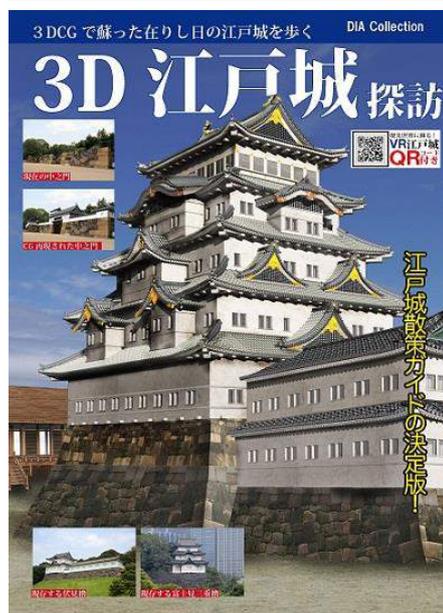


京都支部長 鈴木智博氏

成瀬・京都支部長が制作した江戸城再現画像をふんだんに収録した新刊ムック

『3D江戸城 探訪』発行

これを片手に江戸城址を
散策しよう！



かつてお城を構成していた建物がすべて残っていたら、目の前にはどのような風景が見えていたでしょう。

このムックを片手に、江戸城址の散策に出かけたら、城内のいたるところで、当ムックを使って、かつてそこから見えた風景を味わうことができます。城内の建物の再現画像を作ったのは、CG作家である成瀬京司氏（名古屋支部長）。さらに、あたかも400年タイムスリップして撮影した如く再現画像をスマートフォンに取り込むことができます。※当会がこの画像取り込みの仕組み構築に協力しました。

2018年9月29日 ダイアプレス発行 価格：1,500円+税



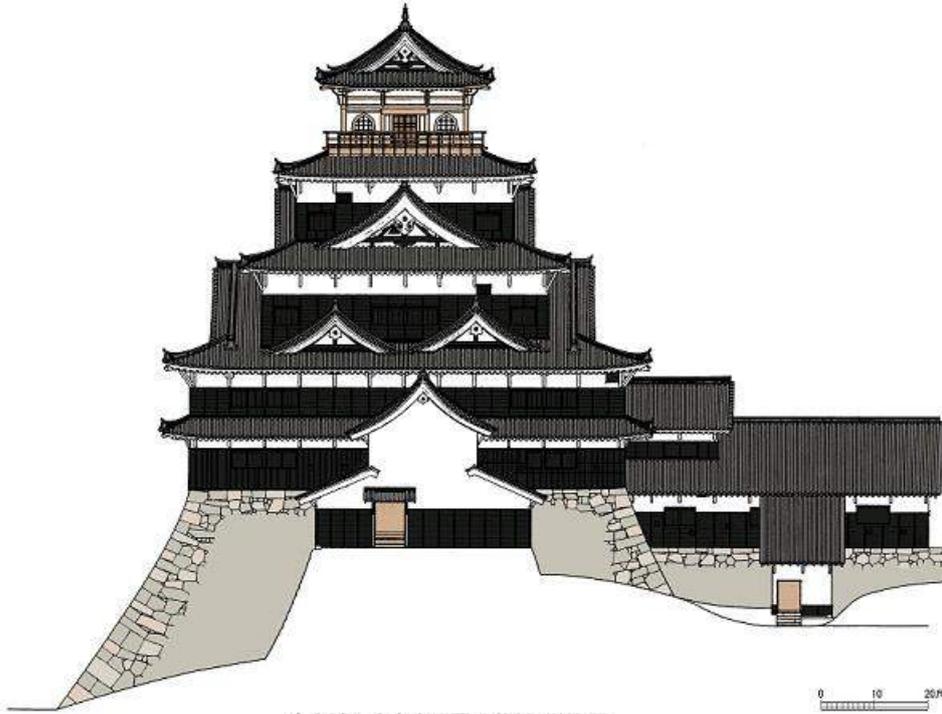
広島大学名誉教授
三浦 正幸氏
(当会特別顧問)

特別寄稿 『歴史に残る名城の天守』

<第5回:広島城天守>

戦国大名の雄・毛利(もうり)輝元(てるもと)は中国地方のほぼ全域を掌握していたが、天正9年(1581)、羽柴秀吉に鳥取城を兵糧攻めで落とされ、翌10年には備中高松城(岡山市)を秀吉に水攻めにされて講和開城した。結局、信長の後継者・秀吉に臣従し、天正16年には秀吉の招きで聚楽第を表敬訪問した。

聚楽第はその前年に完成したばかりで、水堀と石垣で築かれた最新鋭の平城だった。本丸には五重天守が聳え、その豪華豪壮な本丸御殿で輝元一行は歓迎の祝宴を受けた。続いて秀吉直々の案内で大坂城天守の内部を輝元一行は見物しており、「七重(七階の意)」だったと記している。



広島城天守南立面図 1/300 単位:尺
©着色:平成17年 山田岳晴
原図:文化庁保存図

その当時の毛利の本城は、輝元の祖父元就(もとなり)が40年ほど前に増築した吉田郡山城(広島県安芸高田市)だった。旧式中世の山城で、現代の住宅敷地のような極めて小さな曲輪が百以上も尾根上に段々と並び、石垣は部分的でしかも高さは3mもなく、天守や豪華な御殿はもちろんなかった。聚楽第や大坂城と比べれば、郡山城は最早、城の体を成していなかった。

秀吉の勧めによって輝元は広島を築城を開始した。広大な四角い本丸(毛利家では甲(つめの)丸(まる)と呼んだ)と二の丸は聚楽第の縄張をそのまま写し、天守は大坂城を模したらしい。天正17年に着工され、天守は天正20年(1592)にほぼ完成している。

広島城天守の本体は正面12間、側面9間であった。大坂城天守より側面が2間短いだけで、当時存在した全国第二位の巨大な五重天守だった。高い天守台上に建ち、南側と東側にそれぞれ三重の小天守を従え、天守と小天守を渡櫓で結ぶ連結式天守だった。2基の小天守を連結した例は後にも先にもなく、全国無類の壮大さだった。

ところが、この天守には特異な点が二つあった。その一つは、史上初の五重五階天守だったことだ。当時の五重天守は、二重二階の大きな入母屋造を基部とし、その屋根上に小振りな望楼を載せた望楼型天守であった。大きな屋根の中に三階が埋没して屋根裏階となるので、外部の屋根数より内部の階数が一つ多くなる。五重であれば少なくとも六階になるはずだ。

屋根裏階がない天守は、この12年後の慶長9年(1604)に建てられる層塔型五重五階の今治(いまばり)城天守(愛媛県)で初めて現れた。しかし、広島城天守の構造は層塔型天守とも異なり、禅宗寺院の山門と同じ構造だった。上階の床を下階の梁組から分離して高く上げて、屋根裏ができるのを防いでいたのである。空前絶後の構造だったが、耐震性は劣っていた。

もう一つの特異点は、破風の間(破風内部の小部屋)がない、単なる飾りの千鳥(ちどり)破風を史上初めて取り付けただことだ。天守の内部構造を知らずに、大坂城に多数あった入母屋破風を誤認して飾りの千鳥破風にしてしまったらしい。ただの飾りの千鳥破風は、ずっと後の寛永度江戸城天守から始まったものだ。

創建当初の広島城天守は、各重の壁面が黒漆塗りの板壁で、軒先の瓦や鯨も金箔押しだった。五重の外観とともに大坂城を模したものだだったが、その構造は他の天守とは全く相違したものだだった。自尊心が一際高い毛利家中では、天守の構造を秀吉側から教わるのを恥として、独自に開発したのであろう。

戦前に国宝だった広島城天守は、漆が墨に変わり、金箔が剥がれ落ち、小天守を取り壊されてはいたが、輝元が創建したものが残っていた。原爆の爆風で惜しくも倒壊してしまったが、現存しておれば、間違いなく最古かつ最重要の天守だった。

インタビュー 未来の災害を防ぐために、日本史上類を見ない江戸初期の大土木事業を見直すべき

お江戸歴史作家 堀口茉純

お江戸の歴史を研究し、今残る江戸の歴史遺産、名所・旧跡の魅力を、著作（当頁に紹介）や自身のガイドでわかりやすく紹介し続けている堀口茉純氏に、江戸城に関連する事柄についてインタビューしました。※斜体文字が質問です。

——貴重な江戸文化や、江戸の伝統芸能が現在でも引き継がれていますか

さまざまな分野で引き継がれています。歌舞伎や古典落語では江戸時代そのまま保存されています。私の専門の浮世絵は、版画なので和紙にたくさん刷ることができたので大衆文化になることができました。日本の和紙はプレスに強いので、2次元の媒体が回し読みされて大衆の娯楽になり得たのだと思います。これが現在のアニメや漫画に発展しています。江戸時代に演じられていたものがそのまま残っているケースと、江戸時代の原点から形を変えつつ引き継がれているケースとの、2通りの引き継がれ方がありますね。



お江戸歴史作家
堀口茉純氏

——江戸城天守を東京に再建できれば、どのようなよいことがありそうですか

私はお江戸散策ツアーのガイドを引き受けることがあります。その際日本人はもとより海外から来られた方から、「東京に城がないのか」とよく質問されます。こういう質問では城と言うと天守を意味していますので、歴史観光のシンボルとして江戸城天守が建っていることが重要な意味をもっています。日本の歴史を感じたいなら京都が一番ということではなく、東京にも歴史があることを一目で示すことができる貴重な観光資源になると思います。

——江戸城と江戸時代の街づくりについて、どのような興味をもっていますか

江戸の街づくりには非常に興味をもっていますのでこれからも研究していきたい分野です。と言うのは地形は生き物であると思っているからです。地震や自然災害によって土地の形が変わってしましますが、江戸の街づくりでは人工的に土地の形を変えてしまったのです。その土木事業は、日本史上類を見ない規模で実施されたと言えます。

あのあたりは江戸初期に埋め立てられた土地だから地盤が弱いなど、江戸の土木事業の詳細をもっと明らかにすれば、未来の災害を予想することにつながるのではないのでしょうか。江戸初期の大土木事業のさらなる研究が必要だと思います。



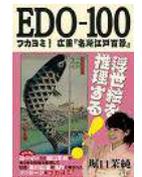
『吉原はスゴイ～江戸文化を育んだ魅惑の遊郭～』PHP研究所（2018年4月）



『江戸はスゴイ～世界一幸せな人びとの浮世ぐらし～』PHP研究所（2016年9月）



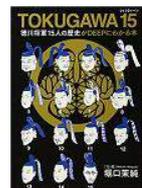
『SHINSENGUMI GRAFFITI 新選組グラフィティ 1834-1868』実業之日本社（2015年2月）



『EDO-100 フカヨミ！ 広重『名所江戸百景』』小学館（2013年9月）



『UKIYOE 17～江戸っ子を熱狂させたスター絵師たち～』中経出版（2013年8月）



『TOKUGAWA 15～徳川将軍15人の歴史がDEEPにわかる本～』草思社（2011年9月）

第5回黒田涼の「江戸城散策ガイド」の開催日変更 → 11月18日に行います

「かわら版第48号」でご案内した第5回黒田涼の「江戸城散策ガイド」の日取りを、10/13から11/18へ変更いたします。

第5回黒田涼の「江戸散策ガイド」シリーズ

2018年11月18日(日)開催

●座学「銀座はなぜ日本一の商店街なのか」

時間:10時半～11時45分 会場:千代田区神保町区民館
参加費 会員1500円/一般2000円

●散策「東京駅から虎ノ門」(雨天決行)

時間:13時～16時 集合:地下鉄丸の内線東京駅改札口
参加費 会員3000円/一般3500円

※お申込みは下記記載の当会へ/両方参加者500円引き

■今後の行事予定(ボランティアご協力をお願いします)

10/27(土) 第3回支部長連絡会(九段下かがやきプラザ)

11/3(土)～4(日) 第8回神田カレーグランプリ(小川広場)

11/18(日) 黒田涼の「江戸城散策ガイド」座学&散策

11/24(土)～25(日) 第79回岩本町ファミリーバザール

12/1(土)～2(日) 同上

12/22(土)～24(月) 第3回お城EXPO(パシフィコ横浜)

※当会ブースを出展します。

1/2(水)～6(日)[予定] J-CULTURE FEST2019との連動企画・お城関連イベント開催(東京国際フォーラム)

※新企画を予定しています。次号に発表します。

ホームページがスマートフォンで見やすくなりました。スマホで見てご意見をください

当会のホームページをスマートフォンからご覧になる方が増えてきたことに対応して、読者がスマホをお使いの場合は、スマホ画面サイズで見やすいレイアウトに自動的に切り替わるよう、リニューアルを実施しました。



これからは、スマホから、会の活動予定を簡単に入手できるよういたします。また、フェイスブックやInstagramと、切り替えながら使っていただきます。今後も改善を続けていきますの

で、ホームページをご覧になってのご要望・ご意見をぜひお寄せください。Eメールをお使いの際は、info@npo-edojo.org へお送りください。

会員のみなさまへ【お知らせとお願い】

①「年会費納入のお願い」タイミング

それぞれの会員の入会月に次年度の「年会費納入のお願い」をお送りします。「かわら版」を同封することがあります。

②会費や寄付金の決済はクレジットカードでどうぞ。ご希望に応じての次年度年会費の自動引き落としも始めました。カード決済が可能になりました。当会ホームページの、<http://npo-edojo.org/> からどうぞ。

③住所等変更届けのお願い

住所・電話番号などが変更になりましたら、FAX や電話で早めに事務局までお知らせ下さい。

④Eメールアドレスの登録のお願い

Eメールアドレスをお持ちの方は事務局宛にメールをお送り下さい。イベント等の情報をお送りします。

Instagramに公式アカウントを登録

Instagramに当会の公式アカウントを登録しました。

edojo. tenshu

会員の皆様のInstagramへの投稿に次のハッシュタグを付けて、江戸城天守再建への賛意を表してください。

#江戸城天守再建の輪



◆寄付の耳より情報:「日本の絆基金」寄付

「日本の絆基金」を利用して当NPO法人へ1万円以上ご寄付いただいた場合には、税制上の優遇措置が受けられます。翌年の確定申告で約4割が戻ります。詳細は当会ホームページの「寄付」の欄をご覧ください。



NPO法人 江戸城天守を再建する会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7
神田中央ビル 505

◇電話 03-6423-1882 ◇FAX: 03-6423-1897

◇Eメール info@npo-edojo.org

◇ホームページ <http://npo-edojo.org>

◇Facebook <http://www.facebook.com/npoedojo>

